



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 40 No. 2139

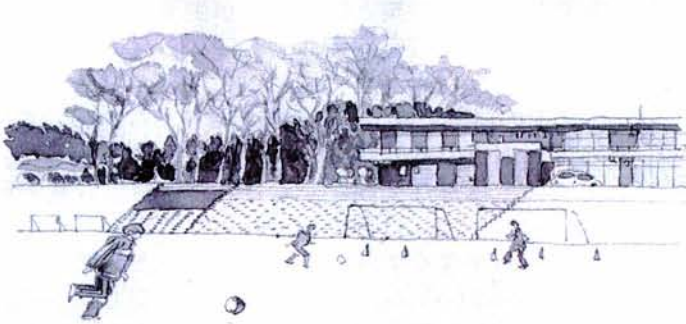
二世紀への出発 原点に戻ろうロータリー

超 我 の 奉 仕 。

百年を礎に原点に戻ってもう一度ロータリーを語ろう

2005～2006年度 RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



百瀬達夫画

例会場/士別グランドホテル

例会日/毎週月曜日 12:10～13:10

事務所/士別グランドホテル

TEL (0165) 23-1234

会 長/汐 川 泰 晴

副会長/織 戸 俊 二

幹 事/川 原 一 夫

士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)

第2216回例会 2006年5月29日 (月)

今日のプログラム

・親睦パークゴルフ ・夜間例会 ・夫人同伴例会

■前回 (5月22日) の記録■ ・普通例会 ・会員卓話

司 会	藤吉敏博会場監督
斉 唱	奉仕の理想
本日の出席	出席率72.3% 会員65人中 出席者47人
本日の欠席	阿達 勇、泉谷 勇、江端捷浩、大野裕一郎、川原一夫。北村浩史、興水広志、齊藤 進、坂野虎溪、武田 修、田中義博、谷 温恵、中村徹雄、鍋島 秀、福島栄三、宮田喜久三郎、渡辺正一、加藤 進
メイクアップ	汐川、神田、笹野、竹内、野崎、足利の各会員 (5月21日わんぱくフェス参加)
ビ ジ タ ー	
ゲ ス ト	
ニコニコBOX	三野会員 (RCゴルフ大会優勝)

累計284,000円

例会予定

5月・ボランティア月間

5月1日 (月)	特別休会
5月8日 (月)	普通例会・理事会
5月14日 (日)	I・M 美深ロータリークラブ
5月15日 (月)	花見例会移動例会 (士別神社社務所・午後12時10分)
5月22日 (月)	普通例会
5月29日 (月)	夜間例会 (奥様同伴例会・ 午後1時15分親睦パークゴルフ)

6月・ロータリー親睦活動月間

6月5日 (月)	普通例会・理事会
6月12日 (月)	早朝例会
6月19日 (月)	普通例会
6月26日 (月)	夜間例会

■会務報告

汐川泰晴会長

ようやく春のさわやかな季節となって参りました。開花の遅れていた桜も先週からの暖かい好天が続き、閉ざされておりました街路や九十九山の桜のつぼみも一気に開き、あちらこちらで枝一杯に見事な花を咲かせ、市民の皆さんの目を楽しませておりましたが、見ごろもそろそろ終わりに近づいて参りました。

さて昨日、「第10回しべつわんぱくフェスティバル」が士別市総合体育館前の駐車場において開催され、出席して参りました。春の好天に恵まれ、子ども達を中心に親など大勢の人達が集る中で、開会式が行われ、青少年活動への援助の一環として毎年継続されております協賛金を、会場ステージにおいて川副子供会育成連絡協議会会長に寄贈して参りました。

今年は、記念すべき第10回目を迎える年との事で士別市子ども会育成連絡協議会より、永年にわたるしべつわんぱくフェスティバルへの深い理解と協力に対して感謝状の贈呈を頂きました。

開会式終了後、士別幼稚園の園児による「パラバルーン」の演技で開幕され、さまざまなアトラクションやゲーム・食べ物コーナーなど盛りだくさんの内容で子ども達による、子ども連のイベントとして、楽しい一日を皆さん過ごされておりました。

開会式には、神田社会奉仕委員長始め、笹野新世代P委員長、竹内会員、野崎会員が出席致しました。

またフェスティバルに、それぞれ係わりのメンバー方もおられ、お忙しいなか大変ご苦勞様でした。

■次年度幹事報告

菊地 博 次年度幹事

1) 受信関係=ふれあい広場パート23福祉標語の募集案内、釧路ロータリークラブ創立70周年記念式典及び記念祝賀会案内(式典11月18日)

■会員卓話

中川涼一会員

私は生まれながらに武徳町の農家の跡取りとして生まれまして、今日まで現在地で農業一筋でやってきたものですから、お話をするにしても、農業に係わる事しか出来ません。

私が営農を始めたのが高校2年生の春からでした。学生の私が、地域の大人社会にすぐ入っていけるものではなく、何をいわんとしているかを分かるまでには大変苦勞した思いがあります。

今、私は自分の思いを、共に働く役員や社員にどのように伝えたら理解をしてもらえるのか悪戦苦闘をしております。私自身組織の中で働いた経験が無いものですから、毎日が我慢と忍耐の戦いです。

士別市の基幹産業は農業であると言われていた中で、今日農業が本当に基幹産業を担っていると言えるのだろうか。

今年は雪解けが遅い、どうしよう。今年は雨が降らない干ばつでどうしよう。今年は雨がなくて仕事

が出来ない。今年は日照不足で寒くて冷害だ。遅霜で作物が駄目になった。早霜で稲が半作だ。稲が雪の下敷きになった。この37年色々な事が有りました。

農業はお天道様一つです。ようやく収穫が出来た。今年は豊作だ。借金を返すことが出来るぞ、と喜んでいたら取れすぎて値段が出ない、相場が下がった。借金を返すどころか、増えてしまった。基幹産業といわれる農業とはこんなものなのか。その中で、肥料、農薬・資材は確実に値段は上がっていく。販売手数料は確実に引かれる。最後に金利も確実に組力から引かれる。自然相手に最大の努力をして、1年に1回の収穫、ましてや、売先も値段もすべて人任せ。基幹産業とは国や地方を支える産業だとされている産業とは、人間が生活を営むための仕事と辞典には書かれている。

ならば、基幹産業とは、自分が生活を営むことが出来て、国や地方を支えなくてはならないはずで有ります。

今までの農業では、基幹産業とは言えないのです。ならば、本当の基幹産業とは何か。

それは、色々な天候に左右されず目標の収量を確保し、なおかつ、自分で値段を付けて出荷できる農業にしていかななくてはならないと思いました。

今月の29日からスタートするポジティブリスト性。これは、安全な農産物を安心して国民の皆様にご食べて頂くための制度であります。

私の農場では、平成元年から安全安心をモットウに、健康な土作り、健康な作物作りを実践し、農協を頼るのではなく、自ら販売をして来ました。自ら販売をする事によって消費者が今何を求めているか、どんな作物が求められているかがわかると同時に、生産地と、消費地の間信頼関係が生まれました。物対金の関係ではない、人と人との関係、そして、強力なパートナーが各地に生まれて来ました。お互いに助け合い、求め合う関係。そして、いかに良い物をいかに安く提供出来るかとなりました。無駄、無理をなくすために、現地加工の提案が有り、技術を教えてもらいながら細々と加工をする中で、一昨年士別信用金庫の援助を頂き本格的な加工へと進んでいる所です。

生産だけの世界から、加工の世界、そして、流通の世界、販売の世界と学ばなければいけない事が、無限大に広がりつつ有りますが、私一人ではなく大切な社員と共に、学び、向上して行く覚悟で有ります。今後とも、ご指導のほどよろしくお願ひしますと共に良きパートナーになって頂き共に成長して行きたいと思っているしだいです。